

# やまなみ



御船町立御船中学校 学校便り  
令和3年 1月号

自創友  
校訓 律造愛

## 志を育む教育を

校長 作田潤一

新年明けましておめでとうございます。

新年や卒業式、入学式によく聞く“少年よ大志を抱け”は、明治時代に札幌農学校（現北海道大学）の初代教頭だったクラーク博士が残した有名な言葉です。この後に続く言葉が、『しかし、金を求める大志であってはならない。利己心を求める大志であってはならない。名声という、つかの間のものを求める大志であってはならない。人間としてあるべき すべてのもをを求める大志を抱きたまえ。』となっています。

パナソニックの創業者、松下幸之助氏も志をととても大切に考えていたそうで、次のような言葉を残しています。

『志を立てよう。本気になって、真剣に志を立てよう。命をかけるほどの思いで志を立てよう。志を立てれば、事はもはや半ば達せられたとってよい。人間、本気になれば素晴らしい知恵が生まれるのです。何としても二階に上がりたい。どうしても二階に上がろう。この熱意がハシゴを思いつき、階段をつくりあげる。上がっても上がらなくても……、そう考えている人の頭からは、ハシゴは出てこない。才能がハシゴをつくるのではない。やはり熱意である。(著書「道をひらく」より)』とも言っています。ナポレオン・ヒルも『思考は現実化する』と、強く思うことの効果を述べています。

ノウハウを誰かに教えてもらうことを期待するのではなく、“こうでありたい。こうしよう”という強い願望を胸にもち続ける子どもたちを育てる教育を家庭、地域と連携して進めたいと考えます。今年もよろしくお祈りします。

## 生徒会発足

12月16日（木）全校生徒が一堂に会し、生徒会認証式が開催されました。まず、校長先生から新会長、新副会長へ任命状が授与された後、新会長から新執行部に委嘱状が授与されました。加納孝哲新会長が「御船中を誇れる学校に作り上げたい。」と決意を述べると、全校生徒から大きな拍手がわき起こりました。御船中生全員が生徒会活動への意欲を高めていました。



加納孝哲新会長

生徒会執行部

生徒会長	加納 孝哲くん	(2年3組)
生徒会副会長	上田 紗智果さん	(2年1組)
生徒会副会長	藤村 大馳くん	(1年5組)
生徒会会計	藤井 皓大くん	(2年2組)
生徒会会計	高田 蓮くん	(1年4組)
生徒会書記	赤星 宥さん	(2年3組)
生徒会書記	栗崎 美湖さん	(1年3組)
生徒会議長	福嶋 一希くん	(2年3組)
生徒会副議長	荒木 佳凜さん	(2年4組)
生活委員長	松本 顕太郎くん	(2年4組)
生活副委員長	馬場 優樹くん	(2年2組)
保健委員長	米守 心さん	(2年4組)
保健副委員長	松本 慧大くん	(2年4組)
体育委員長	清水 馨仁くん	(2年2組)
体育副委員長	津川 那奈美さん	(2年3組)
環境美化委員長	金水 明彩さん	(2年2組)
環境美化副委員長	木下 聖翔くん	(2年3組)
文化学習委員長	本田 凜花さん	(2年1組)
文化学習副委員長	藤本 かれんさん	(2年3組)
放送委員長	松永 麻央さん	(2年3組)
放送副委員長	増永 峻人くん	(2年4組)
防災安全委員長	田中 想くん	(2年1組)
防災安全副委員長	中原 愛実さん	(2年4組)
図書委員長	松尾 実日子さん	(2年2組)
図書副委員長	奥村 莉音さん	(2年3組)
給食委員長	原田 莉風さん	(2年3組)
給食副委員長	清村 みなみさん	(2年2組)
JRC委員長	穂田 雅さん	(2年4組)
JRC副委員長	藤原 かりなさん	(2年3組)
人権委員長	村上 ひらりさん	(2年4組)
人権副委員長	米田 蓮絆くん	(2年1組)

## ゆうあいタイムで仲間作り

11月から週に一回「ゆうあい（友愛、You & I、言い合い）タイム」を設定しています。ゆうあいタイムは、給食の黙食やマスク着用の為に互いの表情が読み取れないなどのコミュニケーション不足を補うことをねらいに、友達と意見を交流して相互理解を深めるグループ・エンカウンターと呼ばれる活動です。12月17日に行われたゆうあいタイムでは「どっちがいい？」というゲームを行いました。「海と山どちらが好きか」のような二者択一で、互いに自分の考えと理由を伝え合うものです。ルールは「相手の考えを否定しない」の一つだけです。代議員がファシリテーター（進行役）となり、進めていきます。代議員は自分のクラスに合った問題も作成しました。生徒たちはとても楽しそうに活動に取り組んでいました。生徒からは『なるほど!』という意見がたくさんあって、おもしろかった。』などの感想が聞かれました。



## 避難訓練

12月20日に火災を想定した避難訓練を実施しました。今回の訓練では火災発生時刻や場所は生徒にも職員にも知らされていません（校長先生と防災担当の中山先生だけが知っています）。普段と異なる場面も想定されていて、臨機応変な対応が求められる難しい訓練です。訓練火災発生後、生徒たちは慌てることなく緊急放送を聞き、落ち着いて避難を始めました。防災シャッターが作動し、狭い出口を通らなければならない状況にも臨機応変に対応し、整然とグラウンドに避難をすることができました。訓練の様子を見ていただいた上益城消防本部の方に、「すばらしい行動・態度だった。」と高い評価をいただきました。いざというときに活かしていきます。



消火訓練も行いました